保護パネル「ハンガー式ヤジロベー工法」

工法紹介

ハンガー式ヤジロベー工法とは、鋼矢板、鋼管矢板、コンクリート矢板等にプレキャストコンクリートパネルを取り付ける設置工法です。

従来工法の問題点を改善しました。

・高さ調整のため、取付が完了するまで吊った状態を維持する必要があったこと。
・隣接するパネルが不整列な場合、前後左右の調整作業が容易にできなかったこと。
・調整箇所が多く施工日数が必要であったこと。

特　　徴

自立式護岸、自立式土留など壁面にプレキャストコンクリートパネルを用いる工事に使用できる工法です。港湾工事など施工の際に制約を受ける工事に適します。

1．ハンガープレートを取付けたヤジロベーパネルを、設置構造物の同位置に取り付けた溝型鋼等へ落し込むことで、設置構造物との間隔とパネルの上下位置を確定します。
2．溝型鋼等にハンガー(引っ掛ける)プレートを介してぶら下がっているため横方向へスライド(滑らせる)させることで、パネルの左右位置の調整が容易に出来ます。
また、プレートを介してぶら下がっているためヤジロベーパネルの面通りや壁面勾配が容易に決定出来ます。
3．ヤジロベーパネルは、溝型鋼等にハンガープレートを介してぶら下げるため、クレーンの効率が高まり施工性が向上します。

底無タイプ

構造図

製品図

ヤジロベーパネル形状図

パネル例（背面）
1810×1997×110

ハンガープレート
製品埋込部とセット写真です。

ハンガープレートは、ヤジロベーパネル重量によりサイズが変わりますのでご注意下さい。
ヤジロベーパネルの寸法につきましては、ご相談下さい。

高潮堤防工事における耐震矢板に施工した事例です。

施工手順

1. 矢板打込、切断完了

2. ハンガープレート落し込み用

溝型鋼の取付ブラケットの溶接

3. 取付ブラケットに溝型鋼を溶接

矢板上部には不等辺山形鋼を溶接
（ヤジロベーパネル固定用）

4. ヤジロベーパネル据付

5. 据付調整状況

STEP1
ハンガープレートを溝型鋼
に落とし込みます。

STEP2
ヤジロベーパネルの面
通りを合わせます。

STEP3
矢板上部に溶接した不等辺山形
鋼に溝切りし、差込むことでヤ
ジロベーパネルを固定します。
（固定手段例です）

STEP4
据付完了

STEP3の前にヤジロベーパネル相互に
隙間がある場合は、ヤジロベーパネルを
スライドさせます。

6. 生コン打設

7. 完成

底有タイプ

構造図

断面図

当構造図は、鋼矢板にブラケットを溶接し腹越しを上下2段に配置することで抑止力（アンカー）を鋼矢板全体に作用させる構造に対してハンガー式ヤジロベー工法を用いたものです。

従って、固定金具やハンガープレート受けは現場によって異なります。

鋼矢板の施工誤差を調整する必要があり、ハンガープレート受けで上下、前後の調整を行います。

ハンガープレート受け

平面図

製品図

写真の製品
H=2.4m
B=1.368/1.008
L=2.396m
W=3.948kg

・H寸法、B寸法はお問合せ下さい。
・壁面は滑面となります。
・鋼矢板のタイプによって底版部の凹凸形状の変更が可能です。
・製品長は、L=2.396mを標準とします。
　±4cmの範囲で調整が可能です。

施工手順

1. 矢板打込、抑止工完了

2. ハンガープレート受け設置

上下（高さ）方向の調整後溶接

前後方向の調整後溶接

溝型鋼の取り付け

3. 据付調整

STEP1
ハンガープレートを溝型鋼に落とし込みます。

STEP2
ヤジロベーパネルの面通りを合わせます。
調整後固定金具にボルトにて固定をします。

STEP3
据付完了

4. 配筋・型枠設置

5. 生コン打設（2回に分けて）

6. 完成